

自分の意見 社説風に

松山東雲女子大生 修了式で発表



自分で制作したマイ社説新聞を解説する学生

松山東雲女子大の1年生が、銀行員や新聞社員らの講義から社会を見る力を養う愛媛銀行の寄付講座「キャリア論」の修了式が23日

松山市桑原3丁目の同大であり、学習の集大成として制作した「マイ社説」新聞の最優秀、優秀受賞者がそれぞれ作品を発表した。講座は2015年度から実施し、今回は約120人を対象に昨年9月から計16回開講。マイ社説は、学生が愛媛新聞社員の手ほどきを受けて、関心のあるテーマで自分の意見を社説風にまとめたもの。社説風にまとめたものも参考にした記事なども使って新聞をついた。

修了式では最優秀賞などの18人が表彰を受け、うち6人が育児休業と女性の社会復帰や、ブラックバイトなどについての作品を披露した。

「愛媛の人口減少と再生」をテーマにし、愛媛新聞社賞最優秀賞に選ばれた西川美乃里さん(19)は「講座や新聞づくりを通じ、知らなかつた情報を知り、自分の考えを深めることができた」と話した。

(宇都宮理恵)